1 次の行列を行基本変形により簡約化し、階数を求めよ.

$$(1) \quad \begin{pmatrix} 2 & -3 \\ -6 & 9 \end{pmatrix} \qquad (2) \quad \begin{pmatrix} 1 & -2 & 3 \\ 2 & -5 & 0 \\ -3 & 1 & 1 \end{pmatrix} \qquad (3) \quad \begin{pmatrix} -1 & 3 & -2 \\ 1 & 2 & -3 \\ 1 & -2 & 1 \end{pmatrix}$$

2 次の連立1次方程式を基本変形(掃き出し法)を用いて解け.

③ 次の連立 1 次方程式の解の個数がどのようになっているか調べよ. 答えは「1:解無し」、「2:解は無限個ある」、「3:解は唯一」の3つの中から選択せよ.

4 次の連立1次方程式が解をもつための a, b の条件を求めよ. (教科書 p.33, 問題 2.3-2)

$$\begin{pmatrix}
2 & 1 & 3 \\
0 & -1 & 1 \\
1 & 1 & 1
\end{pmatrix}
\begin{pmatrix}
x \\
y \\
z
\end{pmatrix} =
\begin{pmatrix}
1 \\
a \\
b
\end{pmatrix}
\qquad
(2)
\begin{pmatrix}
1 & -1 & 1 \\
1 & 1 & 2 \\
2 & -2 & a
\end{pmatrix}
\begin{pmatrix}
x \\
y \\
z
\end{pmatrix} =
\begin{pmatrix}
2 \\
5 \\
5
\end{pmatrix}$$

0解答:

1 基本変形は省略. 簡約化と階数 (rank) のみ記す.

(1)
$$\begin{pmatrix} 1 & -\frac{3}{2} \\ 0 & 0 \end{pmatrix}$$
, 階数は 1 (2) $\begin{pmatrix} 1 & 0 & 0 \\ 0 & 1 & 0 \\ 0 & 0 & 1 \end{pmatrix}$, 階数は 3 (3) $\begin{pmatrix} 1 & 0 & -1 \\ 0 & 1 & -1 \\ 0 & 0 & 0 \end{pmatrix}$, 階数は 2

3 (1) 解なし (2) 解は無限個ある (3) 解は唯一

 $\boxed{4}$ (1) a + 2b = 1 (2) $a \neq 2$

- ポイント! -

連立方程式 $A\mathbf{x}=\mathbf{b}$ (A は $m\times n$ 行列, $\mathbf{x}\in\mathbb{R}^n$, $\mathbf{b}\in\mathbb{R}^m$) において, $\tilde{A}=(A|\mathbf{b})$ を拡大係数行列とする. 方程式に解が存在するための必要十分条件は,

 $\operatorname{rank} \tilde{A} = \operatorname{rank} A$

と表される. また, 方程式に解が存在するとき (従って上の等式が成り立つとき), ただ一つの解が存在するための必要十分条件は.

 $n = \operatorname{rank} A$

と表される. ただし, n は連立方程式の変数 (x, y, z, ...) の個数を表す.